

週日の説教

金 大烈 神父 2011年3月23日(水)

《この災害の危機に》

今朝も余震が3回ありましたね。おかげさまで今日は、朝早くから起きて司祭館の掃除をして過ごしました。(笑)

皆様に何よりもまず、二日前にあった叙階式について感謝の心を申し上げます。参加された方々が、色々な印象を持たれた一日ではなかったかと思えます。各自が任せられた役割のために頑張っておられたことを本当に感謝いたします。皆様も嬉しい心で喜んで下さったでしょう。そうじゃない方もいらっしゃるでしょうか？(笑) 本当に色々な方々が、感動的な思い出に残る式になるようにと心を尽くして下さいました。率直に申し上げますと、私はこの7年間いろいろな叙階式に与って「これが叙階式か」と思うくらい落ち着きのない、全然秩序がない、そういう雰囲気味わって、「何故、何よりも司祭としては一生に残る素晴らしい時間になるのに」と空しく心を痛めたことがありました。

ですから、司教様から今回のお話があった時に「はい」とすぐ応えて、出来るだけ何とかしようという気持ちでした。この災害によって準備した色々なことが実行出来なくなってしまいましたが、それでも皆が「良い典礼だった」と感じられるくらいの叙階式になったのではないかと個人的には思っています。

司教様を含め、参加された司祭の皆様が、それぞれに感謝の心を表して下さいました。「感動しました」という言葉さえ出たくらいです。皆様、本当にありがとうございました。

さあ、今日本では、ひとりの命でも救おうと全力を注いでいます。反面、アラブでは、今も殺し合いがあります。この矛盾だらけの世の中を、神様の目で見たらどのような心か私達にも分かります。あっちもこっちも、名目は正義です。正義のため。それから、敵と言うのでしょうか、民衆の市民軍隊が、掲げるのは、「一緒に力を合わせて、やられたものを取り戻しましょう。」という国の名目です。そして二日前から攻撃が始まりましたね。名目は何であれ、結局犠牲になるのは民です。そしてもっと気持ち悪くなるのは、そこには必ず隠されている秘密があります。もちろん悪い者がいなくなって、平和が訪れたらそれは最高です。しかし今、フランスについて言えば、先頭に立って正義のために力を出し動いたような姿をみせているのですが、狙いは石油です。一番大きい問題は石油です。いつも自分達の利益を求めながら、正義を振りかざすのです。

ある信者さんがインターネットで「神様はなぜこんなに残酷ですか。なぜ罪のない子供たちが、このように死ななければならないのですか。」という質問をして来ました。それに対して誰がきれいに答えられるのでしょうか。しかし、私たち信者は、はっきりしなければならないことが一つあります。それは、なぜ日本の方がやられたか、なぜリビアがやられたかと、そういう問題ではありません。とにかくこの世の中、人間が犯した罪は、表明出来ないくらいに沢山あって、清めることは非常に難しい

状態になっていることは確かだと思います。地球のこと、自然のこと、人間関係のこと、そして、どこを見ても人間が犯した罪は本当に量れないくらい沢山みえます。

皆様、今居るところで私達がすることは何であるか考えなくてはなりません。本当に私達が個人的ではなく、全体的に、私達人類が、犯した罪について、まず深く反省することです。悔い改めることです。どのくらい歪^{ひずみ}が生じたか、利己的に自分のことばかり考えながらお互いに一体感を築いて今までやってきたのか、それを考えるべきです。そして、“赦したまえ”とはっきり祈るべきです。それがなかったら本当に、聖書に表されている終末が来るかも知れません。深刻に考えなければならないと私は思います。

逆に考えてみますと、この危機が、ある意味でチャンスかもしれません。たくさんの犠牲があつて、その犠牲について、誰も正当化させることは無理だと思います。こういう危機によって、すべての人類が、できるだけ沢山の人が悔い改める心を持つことが出来れば、私達に希望が残されていることですし、希望の表れです。幸いに世界各国の人が、日本のために祈っています。日本のために祈っていることは、結局、自分たちのために祈っていることと全く同じです。私はそう思います。世界の全ての人々が危機感を感じています。「ああ、なんだろう、私の愛しているこの子供たちに残せる地球はあるのか」と、本当に深刻に人々は考えています。日本人の子供たちが、テレビ画面の前に現われて涙を流している姿をみて、世界の人々は一緒にひとつの心になって涙を流しているのです。これがある意味で力になっています。必ず、取り戻されます。回復します。人々がこのように、全世界が一つの心になってお互いになんとかしようという心が自発的に出来たことは、本当に、人類の歴史上めずらしいことです。ある意味でインターネットの発展によって、もっと緊密に早く深くつながったかも知れません。今、私達人類が、この地球が、この世界が、神様に赦される可能性があるとは私は信じたいのです。

皆様今、日本も、これから少しずつだと思えます。回復するためには沢山の時間がかかり、色々な問題がおこると思えます。しかしがっかりしないで下さい。私達は立ち上げられます。そして、私達は逃げる場ではなくて、救おうとする場に属しているという強い確信をもって下さい。その気持ちで、私の手が一人でも救う救いの手になれば、それは最高ではないかという気持ち、もう一つ、いつも償う心でこの痛みを見ていただきたいのです。この償う心がなかったら、いつもわがままになってしまいます。今までの個人的な歴史、全体的な歴史、一緒に振り返ってみながら、このことを機会に私が今まで歩んで来た色々な間違いを赦してもらえ、赦していただく機会にしようとしながら、この危機を迎えましょう。

ありがとうございました。